

仁王門 と仁王像

金峯山寺の国宝、仁王門は、見るものを圧倒する 20 メートル以上の高さをもつ二階建ての建築物で、北向きに建っています。乱世の南北朝時代（1336–1392）に建てられた仁王門は、日本にごくわずかしか現存していない二階建ての門のひとつです。南向きの二天門は焼失したため、金峯山寺に残っているのは仁王門だけです。

門の両側に安置されている約高さ 5 メートルの守護神の像、金剛力士立像は 14 世紀頃に制作された重要文化財です。

仁王門は現在、1950 年代以来の修復と保全が行われており、2030 年頃までは参拝できない可能性があります。